

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
北九州市	唐熊地区(唐熊集落)	令和4年3月25日	年 月 日

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	24.2ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	15.9ha
③ 地区内における66歳以上の農業者の耕作面積の合計	12.5ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3.8ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.5ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.6ha
(備考)・石炭鉱害復旧により、昭和40年代に基盤整備された水田がほとんどである。 ・担い手となっている農家の経営は、水稲+種子用大麦、稲が主体。 ・野菜等の生産は畑で一部あるが少ない。	

2 対象地区の課題

・現在は、農地の貸し手と借り手のバランスがとれ、耕作放棄地もない。農地の借り手も複数いるが、今後も継続して借り手となるよう地区内の承認や農道、水路等管理の支援が必要である。 ・水稲裏作は一部の水田に限られており、拡大の余地がある。 ・農業機械が大型化しているため、現在の圃場区画(15a)は小さく、大区画の検討が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・唐熊地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者2経営体が担うほか、入作の認定農業者等の受入れをすることにより対応していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を 営む範囲
認定 農業者	中心経営体A	水稲、麦、野菜	3.3ha	水稲、麦	(3.6)ha	
	中心経営体B	水稲、麦	5.6ha	水稲、麦	(6.7)ha	
認定 農業者	中心経営体C	水稲、麦、野菜	1.6ha	水稲、麦	(1.8)ha	
計	3人		10.5ha		12.1ha	

